



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-149

(2026.3.11)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

信用金庫統計担当：西 俊樹

03-5202-7672

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の預金・貸出金残高（2026年2月末速報）

—前年同月末比増減率、預金0.1%増、貸出金1.7%増—

ポイント

- 2026年2月末の全国254信用金庫の預金残高の合計は162兆円、前年同月末比増減率は0.1%増、貸出金残高の合計は82兆円、同1.7%増となった。
- 地区別の前年同月末比増減率では、預金は11地区中6地区で、貸出金はすべての地区でプラスとなった。
- 業態別の前年同月末比増減率では、信用金庫は、他業態に比べて預金、貸出金とも低い状況が続いている。

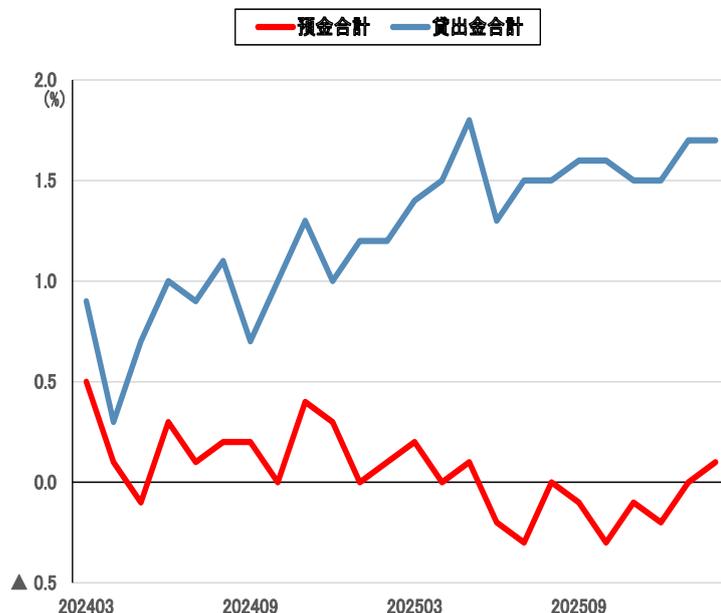
(注) 本稿における2026年2月末計数は速報値であるため、今後、確報値で修正されることがある。

1. 2026年2月末の預金・貸出金動向

2026年2月末の全国254信用金庫の預金残高合計は162兆円、前年同月末比増減率は0.1%増となり、貸出金残高合計は82兆円、同1.7%増となった(図表1)。

近年の預金・貸出金増減率の推移をみると、預金増減率は貸出金増減率を下回る状況が続いており、乖離幅が大きくなっている。なお、預金の増減率は2025年6月以降、前年同月末比でマイナスが続いたが、2026年2月は月末が休日であったこともあり、同比でプラスに転じたとみられる。

(図表1) 預金・貸出金の前年同月末比増減率の動向



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の動向

地区別の前年同月末比増減率をみると、預金は11地区中6地区で、貸出金はすべての地区でプラスとなった(図表2)。

(図表2) 地区別の動向

(単位:億円、%)

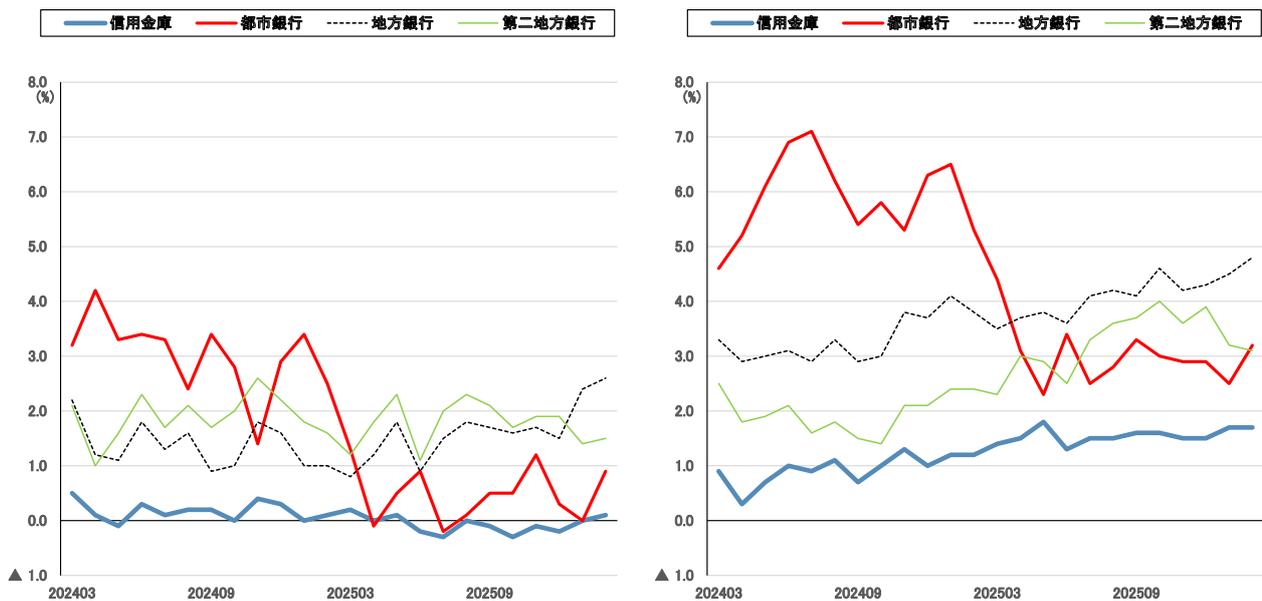
地区	預金			貸出金			預貸率
	残高	月中増減率	前年同月比増減率	残高	月中増減率	前年同月比増減率	
北海道	87,007	-0.1	0.5	36,213	0.1	2.0	41.6
東北	59,974	0.2	-0.3	27,420	0.2	0.3	45.7
東京	287,179	0.5	0.5	157,892	-0.0	1.4	54.9
関東	304,361	0.5	0.1	152,960	-0.0	2.0	50.2
北陸	39,894	-0.0	-1.0	17,979	-0.2	2.1	45.0
東海	350,757	0.3	0.6	170,397	0.0	2.3	48.5
近畿	337,159	0.3	-0.7	178,049	0.0	1.4	52.8
中国	67,969	0.5	-0.3	36,242	0.2	2.1	53.3
四国	32,557	0.2	0.1	12,897	-0.0	1.6	39.6
九州北部	28,166	0.6	0.5	15,445	-0.1	1.8	54.8
南九州	31,483	0.5	-0.4	17,447	-0.0	1.0	55.4
全国	1,628,984	0.4	0.1	824,767	0.0	1.7	50.6

(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 沖縄地区は全国に含む

3. 業態別の動向

業態別の前年同月末比増減率は、信用金庫（預金 0.1%、貸出金 1.7%）、都市銀行（同 0.9%、同 3.2%）、地方銀行（同 2.6%、同 4.8%）、第二地方銀行（同 1.5%、同 3.1%）となった（図表3）。

(図表3) 業態別の動向(左図:預金、右図:貸出金)



(備考) 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 他業態は全国銀行協会「全国銀行預金・貸出金等速報」より作成(業態間の合併は未調整)

以上

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>) に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。